

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちは地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2006(平成18)年10月15日 第402号

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1の2
保健会館 電話03-3269-1131

http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行 年間購読料300円(1部30円)

● 今月の主な紙面 ●

1面 「成功長寿をめざした抗老化プログラム」で開催
第47回日本人間ドック学会

2~3面(見開き)
話題 「個別健康支援プログラム」で成果を上げた
藤沢市の取り組み
連載 たばこ問題とその規制対策 第6回
連載 健康づくり・健康増進を支援するページ
実践編 第6回

4面 世界ハートの日が開催
脊柱側弯症の早期発見とその対応
第226回学校保健セミナー
第24回全国情報統計研修会が開かれる
がん患者支援キャンペーン
「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2006」
連載 保健会館クリニックの顔
産業保健フォーラム IN TOKYO 2006が開催

「成功長寿をめざした 抗老化プログラム」で開催

第47回 日本人間ドック学会 高齢社会に対応した人間ドック のあり方をめぐり講演やシンポ

単なる長寿ではなく、国民一人ひとりが生涯にわたり、元気で活動的に生活できる社会の実現をめざして、国による健康日本21や健康増進法、健康フロンティア戦略などの施策が進められている。いっぽう、このような国の予防医療重視の方針や国民の予防意識の高まりを受けて、生活の質の向上と健康長寿を目的とした抗老化医学の研究が精力的に行われており、大学病院などでもアンチエイジング(抗加齢)ドックの開設が相次いでいる。こうした中、「成功長寿をめざした抗老化プログラム」をメインテーマに、第47回日本人間ドック学会(学術大会)(大会長 鈴木信雄(琉球大学名誉教授))が、9月14日、15日の両日にわたり、宮野津市の沖縄コンベンションセンターで開催された。大会では、人間ドックを活用した健康長寿に関する取り組みや生活習慣病対策などについて、多数の講演やシンポジウム、パネルディスカッションが行われた。また同学会は、今大会より国際会議としての認定を受け、第1回国際会議を同時開催した。

大会の初日、開催地にちなんで行われた会長講演「成功長寿のためのオキナワ・プログラム」(座長 奈良昌治(日本人間ドック学会理事長))では、大会長の鈴木名誉教授が、貴重な沖縄県の100歳超検例と縦断的なコホート研究として行われた2003年 Okinawa Life Intervention Seminarの概要について紹介した。

鈴木名誉教授は、セミナーの成果から、沖縄県の観光産業とリンクさせて成功長寿を目的とした人間ドックを行うことで、沖縄の経済と教育と健康の発展に貢献できる。沖縄文化を世界で紹介・発信し、沖縄が長寿研究のメッカとして発展することを期待したい」と述べた。

このうち座長の米井教授は、「通常の人間ドックでは、がんなど生活習慣病の予防と早期発見・治療を目的としているが、抗加齢ドックでは病的老化とOOL(生活の質)低下の発見・予防・治療が目的になる」と前置きして、同大学のリサーチセンターで行っている抗加齢ドック支援システム(写真)について説明した。

続けて米井教授は、「抗加齢ドックでは、老化の指標として骨年齢・血管年齢・筋年齢・精神年齢・ホルモンの年齢などを評価するほか、老化危険因子として、免疫機能・酸化ストレス・心身ストレス・生活習慣・代謝機能について評価している」と述べて、検査方法や健診システム、バイオマーカーの特性について詳細に解説した。

また、高年齢化の進展により人間ドックで発見される高齢者のがんが増加傾向にある現状を踏まえ、パネルディスカッション「高齢者のがんをどこまで処置するか」(天寿がん)(座長 小山和作(日本赤十字社熊本健康センター名誉所長、三原修一(同センター副所長))では、高齢者のがんの特徴や治療法の判断基準について、また苦痛の軽減・緩和や心のケアなどについて4人の専門家が発表を行った。

このうち座長の米井教授は、「健康寿命」という概念が、従来の「健康」という概念から、がんなど生活習慣病の予防と早期発見・治療を目的としているが、抗加齢ドックでは病的老化とOOL(生活の質)低下の発見・予防・治療が目的になる」と前置きして、同大学のリサーチセンターで行っている抗加齢ドック支援システム(写真)について説明した。

また、高年齢化の進展により人間ドックで発見される高齢者のがんが増加傾向にある現状を踏まえ、パネルディスカッション「高齢者のがんをどこまで処置するか」(天寿がん)(座長 小山和作(日本赤十字社熊本健康センター名誉所長、三原修一(同センター副所長))では、高齢者のがんの特徴や治療法の判断基準について、また苦痛の軽減・緩和や心のケアなどについて4人の専門家が発表を行った。

病院長、米井、同同志社大学教授)では、今大会のメインテーマを受けて、「長寿に関する人間ドック Biomarker」をテーマに、4人の専門家が現在取り組んでいる抗加齢ドックの現状とバイオマーカーに関する最新の知見について報告が求められるとして、自施設が求められるとして、自施設

その後の質疑応答では、会場からの「抗加齢ドックでは多項目にわたるバイオマーカーの検査、サプリメントやホルモンの補充療法などが行われているが、エビデンスのあるものは少ない。受診者へのきちんとしたインフォームドコンセントが必要では」との発言に対して、米井教授は「発言の内容に基本的な同意を示した上で、加齢に伴う変化については、検査値が何歳くらいの値に相当するかということについてはある程度エビデンスが出てくるが、どのくらいの年齢を目標に、どのような指導をしたらいいかについてはまだ明確にわかっていない。きちんとしたエビデンスを出すためには、多施設で

十分な基礎データを蓄積していく必要がある。多くの先生方のご理解と協力をお願いしたい」と答えた。いっぽう、国民の健康づくりの重要なテーマであるメタボリックシンドローム対策については、厚生労働省の中島正治前健康局長が「メタボリックシンドロームと医療制度



個人情報取扱について

日ごろより、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。そのうえで今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

コンサルテーションのご案内

11月 1日 岡 惺治 (健康管理コンサルタント)	12月 6日 岡 惺治
8日 三輪祐一 (東京都予防医学協会総合健診部長)	13日 三輪祐一
15日 岡 惺治	20日 岡 惺治
22日 三輪祐一	27日以降年末年始は休み
29日 第210回 ヘルスクエア研修会につき休み	

お問い合わせ・ご相談は 予約制)
電話 東京(03)3269-1141

健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1の2
(財)東京都予防医学協会

話題

国保ヘルスアップモデル事業 「個別健康支援プログラム」で 成果を上げた藤沢市の取り組み

2008年度からの医療保険者の健診・保健指導の義務化へ向けて、真に効果のある健診や保健指導のあり方が問われ、検討が重ねられている。その一環として02年にスタートした厚生労働省・国保ヘルスアップモデル事業(モデル事業)により早く取り組む、成果上げた自治体が藤沢市である。健康経営「コンサルタント」を本会が主催する。第207回ヘルスケア研究会には、モデル事業の実施主体となった藤沢市保健医療センターの小堀孝所長と鈴木清保健師が、取り組みの実際や成果を報告した。今回は、その概要を紹介する。

要であることなどについて、さまざまな検討を重ねられてきた。

モデル事業では、従来の健診の事後フォローとして、健康相談を軸とした、個別健康支援プログラム(以下「プログラム」)を展開し、事後支援の体制を構築することを目指す。

プログラムの要は保健職による健康相談

健康事業の必要性や、事業効果の真実性、事業の重要性が認識され、その上で、プログラムの展開すべくあること、評価の公平性という観点から事前に行き、参加の同意が得られた4570人を対象とした。スタッフ体制は、保健師

モデル事業の対象者(介入)は9799であった。対象者は、国保被保険者(7万2千人)のうち約2万人を無作為抽出して大規模調査を行い、参加の同意が得られた4570人を対象とした。

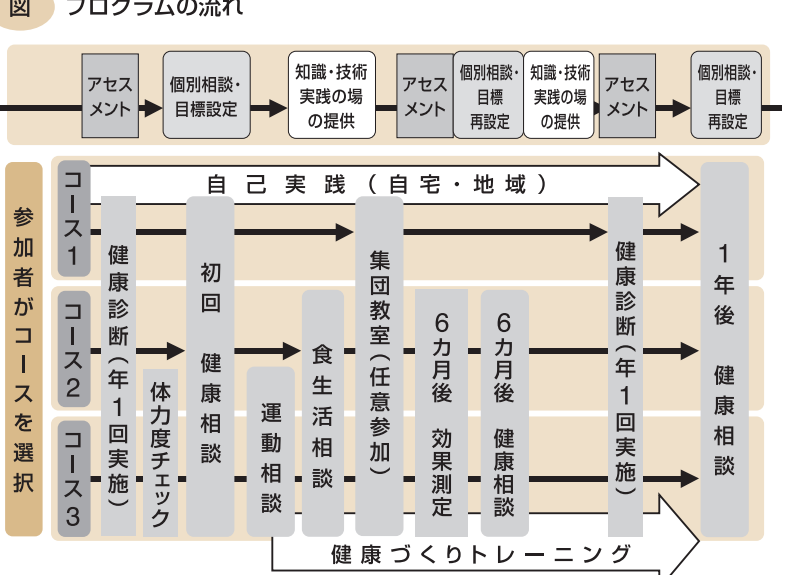


表 身体状況の変化(コース2)

	n	介入前	2年後	
体重(kg)	134	58.8 ± 10.1	57.4 ± 9.7	\$\$§
BMI	134	23.6 ± 2.9	23.0 ± 2.9	***
収縮期血圧(mmHg)	134	129.6 ± 17.0	127.8 ± 18.0	§
拡張期血圧(mmHg)	134	76.7 ± 11.3	75.4 ± 10.3	§
総コレステロール(mg/dl)	135	216.3 ± 36.8	213.2 ± 32.5	§
HDLコレステロール(mg/dl)	131	61.1 ± 14.7	64.5 ± 16.2	***
LDLコレステロール(mg/dl)	131	128.8 ± 32.0	126.2 ± 29.0	§
中性脂肪(mg/dl)	135	134.0 ± 82.5	114.6 ± 56.1	**
血糖値(mg/dl)	68	100.2 ± 22.1	97.1 ± 16.0	**

介入前と2年後との比較 * : P<0.05 ** : P<0.01 *** : P<0.001
対照群との比較 § : P<0.05 §§ : P<0.01 §§§ : P<0.001 Mean ± SD

介入の後は、身体状況や生活習慣が有意に改善された。介入群で対照群よりも、介入前後の身体状況や生活習慣の改善が有意であった。

健康づくり・健康増進を支援するページ 実践編

監修：岡 惺治
(健康管理コンサルタント)

やや高め血糖値で病気になるの？
たしかに、健診では糖尿病とは診断されませんが、でも過去数年の空腹時血糖値は100前後を行ったり来たり、それに体重増加傾向や生活が不規則だと、将来糖尿病になるかもしれない予備軍の可能性が高いのです。

予備軍で必ず糖尿病になるの？
日本人の体質は欧米人比べて糖尿病になりやすい。加えて「肥満」「食べすぎ」「運動不足」「ストレス」などがあると、糖尿病が発症すると言われています。予備軍のまま経過する人もいますが、長期間の高血糖状態は加齢とともに動脈硬化の原因になります。血糖値や高血糖は糖尿病になるかならないかの分かれ道。同じ生活のままで糖尿病発症の引き金をひきますか？それとも生活改善のチャンスである今を見直すか？「ここはストレスの観点から考えてみましょう。」



現代は、ストレスと無縁の生活は困難です。その24時間の中で、パソコン・テレビの情報をかきつけてあげる時間を削り、緊張リリースのチャンスを保つことが大切です。

血糖のコントロールに、食へ過ぎるバランスの悪化が原因とされている。甘いもの、何を食べただけ、食べればいいのか迷います。今回は「食事バランスガイド」を利用して考えてみましょう。

糖尿病予備軍へのアプローチ

高めの血糖値は、いわば糖尿病予備軍。自覚症状のないことが多く、そのまま放置すると糖尿病予備軍から糖尿病へと進行していく可能性があります。また最近では、メタボリックシンドロームとの関連も指摘されています(本紙388号、398号既報)。今回は、血糖値が高めの人に対する生活改善のポイントをご紹介します。



リラックスして何すれば良いの？
おしゃべり、散歩、スポーツなど、最適なリラックスのアイデアをいくつか紹介します。

図の上から順番に「主食」「副菜」「主菜」「牛乳・乳製品」「果物」で構成された逆三角形の割合の順を参考にしてください。

例を見てみましょう。この日は目安量18〜60歳男性の目安量を参考にしています。主食、果物、副菜、主菜の量がそれぞれ約1/4ずつになっています。このグループに属する

このグループに属する主な食材は、主食：小麦粉(白米)、食料繊維の供給源、種実類、芋類、油、ナッツ類、豆、魚介類、肉、魚卵、大豆製品から血程度。

歩くとや掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

理想的な靴底の減り方
図のように靴底の減り方を正しく確認して、履きやすい靴を選びましょう。靴底の減り方がおかしくないか？ ふだん履いている靴を見てみましょう。図のように靴底の減り方を正しく確認して、履きやすい靴を選びましょう。

靴底の減り方がおかしくないか？
ふだん履いている靴を見てみましょう。図のように靴底の減り方を正しく確認して、履きやすい靴を選びましょう。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

歩くと掃除などの活動は筋肉を刺激します。そこで、ある程度まとまった時間歩けば、糖尿病などの生活習慣病を予防すると言われていた。外回りの営業でも、車での移動が多ければ活動量は低め、逆に歩いたり、車を運転していたり、活動量が高めです。数年にわたって血糖値が低い状態が続いている場合は、この活動量の問題があるかもしれません。

1年間の健康づくりをツールを作成する。また、コース1・コース2・コース3の健康相談では、効果測定、半年間の振り返り、半年後に向けた目標の再設定を行う。1年後の健康相談では、健康診断や生活習慣調査などの結果説明や、1年間の振り返りを行い、健康づくり目標の達成度の評価を行う。

たばこ問題とその規制対策⑥
大阪府立成人病センター 調査部部长 大島 明

たばこ規制枠組条約の発効とわが国の取り組み — 2
たばこ規制枠組条約は、日本国と日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会など39の日本国医療団体・組織で構成される国民医療推進協議会などが大幅引き上げを要請したが、自由民主党・公明党が決定した平成18年度税制改正大綱(05年12月15日)「前略」(たばこ消費税の引

たばこ規制枠組条約の発効とわが国の取り組み — 2
たばこ規制枠組条約は、日本国と日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会など39の日本国医療団体・組織で構成される国民医療推進協議会などが大幅引き上げを要請したが、自由民主党・公明党が決定した平成18年度税制改正大綱(05年12月15日)「前略」(たばこ消費税の引

たばこ規制枠組条約の発効とわが国の取り組み — 2
たばこ規制枠組条約は、日本国と日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会など39の日本国医療団体・組織で構成される国民医療推進協議会などが大幅引き上げを要請したが、自由民主党・公明党が決定した平成18年度税制改正大綱(05年12月15日)「前略」(たばこ消費税の引

たばこ規制枠組条約の発効とわが国の取り組み — 2
たばこ規制枠組条約は、日本国と日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会など39の日本国医療団体・組織で構成される国民医療推進協議会などが大幅引き上げを要請したが、自由民主党・公明党が決定した平成18年度税制改正大綱(05年12月15日)「前略」(たばこ消費税の引

世界ハートの日 が開催

心血管疾患の予防と撲滅めざし 世界各国で啓発活動が展開

「世界ハート」の日に先立ち、9月11日に開かれたプレスセミナーでは、「世界ハートの日」の取り組みの報告や、運動、食事をテーマにした講

演などが行われた。このうち、オープニング講演を行った篠山重威(日本心臓財団常任理事)は、2000年に「世界ハートの日」が設立

されたのは、人々が心臓病や脳卒中の危険因子を自覚し、予防の手段を講ずることを奨励するためである、と述べ、その背景や経緯を解説し、こ

れまでの活動の実績を報告した。その上で篠山常任理事は、年々この活動への参加国やウェブサイトのアクセスが増加していること、ユネスコやWHO、UEFA(欧州サッカー連盟)といっ

た有力な機関が協力しているなどの現状に触れた。また、各国のメディアがこつた活動を広く報道していることを紹介し、より効果的な啓発活動の展開にはメディアの力が必須であるとし、その協力を強く呼びかけた。

そして、日本では昨年に引き続き、腹部周囲計測メジャーやパンフレットの配布、市民公開講座「JEF・フクアリ」世界ハートの日」キャンペーン(写真)をはじめとするさまざまな活動を通じて、心血管疾患の引き金となるメタボリックシン

ドロームの危険性を広く啓発するとして、また、佐藤祐造愛知学院大学教授による講演「エクササイズ、汗をかいても疲れない」では、メタボリックシン

ドロームをはじめとする生活習慣病に対する運動の効果を示され、健康づくりのための身体活動量の目安などが紹介された。

保健会館 クリニックの

顔

4



内科外来
高梨智子 医師

10月、本会に着任した。現在は、画像診断科長として健診・検査の診断や運営、診療などに携わっている。高梨医師は、クリニックで担当する内科外来について次のように語る。

「内科外来には、地域の方々をはじめ、健診や人間ドックで要経過観察、要精密検査とされた方など、さまざまな病状や状況の方が受診されます。日々の診療の中で、もっとも大事にしているのは、受診者に納得して診療や検査を受けていただくことです。」

そのため、その方の症状や状況をお聞きしながら、今後の検査や治療の見通しなどをじっくり説明するよう心がけています。とくに画像診断の結果については、実際の画像をお示しし、そこから得られる情報をわかりやすく解説するようにしています。また、専門医の診察が必要となった方に対しては、クリニックの各種専門外来と連携し、速やかに対応できる体制をとっています。高梨医師の趣味は写真です。

全世界でもっとも重大な死因である心臓病や脳卒中。わが国の死因でも、がんに次ぐ第2位と第3位を占め、その対策が急がれている。世界心臓連合は、9月の最終日曜日「世界ハートの日」と定め、こつした心血管疾患の予防と撲滅をめざした啓発活動を世界各国で展開している。今年も「あなたと心臓、若さを保っていますか」をテーマに、世界中でさまざまなイベントが行われた。わが国では日本心臓財団が中心となって、プレスセミナーや市民講座、心臓病相談会、Jリーグ公式試合でのキャンペーンなど、多岐にわたる啓発活動が展開された。



9月23日に開催された「JEF・フクアリ」世界ハートの日」キャンペーンアリーナに設置された「世界ハートの日」の横断幕(上)ロゴ入りTシャツを着用し、小旗を手に、選手の入場をエスコートする子どもたち(下)

「世界ハートの日」の日に先立ち、9月11日に開かれたプレスセミナーでは、「世界ハートの日」の取り組みの報告や、運動、食事をテーマにした講演などが行われた。

このうち、オープニング講演を行った篠山重威(日本心臓財団常任理事)は、2000年に「世界ハートの日」が設立されたのは、人々が心臓病や脳卒中の危険因子を自覚し、予防の手段を講ずることを奨励するためである、と述べ、その背景や経緯を解説し、これらまでの活動の実績を報告した。

その上で篠山常任理事は、年々この活動への参加国やウェブサイトのアクセスが増加していること、ユネスコやWHO、UEFA(欧州サッカー連盟)といった有力な機関が協力しているなどの現状に触れた。

また、各国のメディアがこつた活動を広く報道していることを紹介し、より効果的な啓発活動の展開にはメディアの力が必須であるとし、その協力を強く呼びかけた。

そして、日本では昨年に引き続き、腹部周囲計測メジャーやパンフレットの配布、市民公開講座「JEF・フクアリ」世界ハートの日」キャンペーン(写真)をはじめとするさまざまな活動を通じて、心血管疾患の引き金となるメタボリックシン

脊柱側彎症の早期発見と その対応——第226回学校保健セミナー

東京都学校保健会と本会の主催による第226回学校保健セミナーが、7月28日に開かれ、「脊柱側彎症の早期発見とその対応について」と題して大塚嘉則千葉東病院長が講演を行った。

大塚名誉院長はまず、「脊柱側彎症は小児の代表的な整形外科疾患である。このうち学校保健で問題となるのは病的な側彎の構造的側彎症で、その8割が原因不明の特発性

側彎症である。この側彎は、一度悪化してしまつて元に戻らず、手術以外に有効な手段がないため、早期発見、早期治療により進行を防止することが求められる」と述べ、早期発見の重要性を強調した。

その上で、脊柱側彎症の1次検診で行われている視触診法とモアレ法の特徴、2次検診の方法といった検診の仕組みや流れ、発見された側彎症の傾向などが紹介された。

また検診後の対応として、専門の整形外科医による治療や定期的観察が必要となった場合の経過観察、器具治療、手術治療の実際と、日常生活の注意点などについても詳しく解説が行われた。

このうち経過観察中の側彎症について、大塚名誉院長は「特発性側彎症の場合、女子では初潮から2年間が急速悪化する時期のため、この間は注意深く経過観察をする必要しめくつた。」

また今後の課題としては、2次検診受診率の向上をあげ、「側彎症の原因は、今なお不明である。学校検診による早期発見と、それに続く適切な管理による悪化防止に意義のある時代はまだ続く」としめくつた。

また、側彎症の自然経過に影響を与えるような要因は何も知られていない。そのため本人には、次の回の受診日さえ忘れなければ日常は側彎を忘れて生活してよいと説明するなど、いたすらに不安を与えないようにすべきであつた、とした。

また今後の課題としては、2次検診受診率の向上をあげ、「側彎症の原因は、今なお不明である。学校検診による早期発見と、それに続く適切な管理による悪化防止に意義のある時代はまだ続く」としめくつた。

また今後の課題としては、2次検診受診率の向上をあげ、「側彎症の原因は、今なお不明である。学校検診による早期発見と、それに続く適切な管理による悪化防止に意義のある時代はまだ続く」としめくつた。

第24回 全国情報統計 研修会が開かれる

本会など予防医学事業中央会傘下の全国支部で、情報処理や統計業務に携わっている担当者64人が参加して、第24回全国情報統計研修会が8月31日、9月1日の2日間にわたって、鳥根県の松江市で開催された。

1日目は、山内邦昭中央会事務局長と永田伸二鳥根県環境保健公社副理事長のあいさつ後、同公社の清原貴孝常務理事が、鳥根支部の活動を紹介した。

続いて行われたグループディスカッションでは、成績処理システムの運用管理・構築担当者、職域保健・施設保健・母子保健成績処理担当者、学校保健成績処理担当者、の4グループに分かれて情報交換と討議が行われ、活発な意見交換がなされた。

2日目に開催された全体討議「事業年報を考える 有用性のある年報作成への取り組み」では、鳥根大学の藤田委員が、「健診機関の実績評価を行うための統計の仕方、健診機関における集計・統計法の基本」と題する基調講演を行った。

その後、年報作成の取り組みの現状について、3支部(岩手県・東京都・静岡県)が報告し、各支部の具体的な事例をもとに全体討議が行われた。

このほか研修会では、山根則幸栃木県保健衛生事業団事務局長による講演「医療制度改革関連法制定に伴う新しい健診体制について」や、山内事務局長による全国運動報告なども行われた。

がん患者支援キャンペーン 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2006」

がん征庄への願いと連帯をめぐして、がん患者や体験者が家族、支援者が語り合いながら一緒に歩く「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2006」(主催 日本対がん協会)が、さる9月2日、茨城県つくば市の筑波大学陸上競技場で開催された。

「命のリレー」と呼ばれるこのイベントは、1985年に米国で始まり、現在は世界20カ国以上に広がっている。日本では今回が初めての開催であったが、全国各地から約1000人が参加する大きな催しとなった。

リレー・ウォークは、サイバパー(がん患者やがんを克服した人)による「サイバパーズ・ラップ」でスタート。サイバパーたちは、がん闘う人たちの勇気をたええる声援や拍手の中、メッセージを記した横断幕などを手にトラックを一周した。

その後、参加者は5、10人のチームごとにメンバーを交代しながら約8時間歩き続け、交流を深めていた。

産業保健フォーラム IN TOKYO 2006が開催

「健康文化」の形成をめざして「をテーマに、東京労働局、東京労働基準協会連合会が主催する「産業保健フォーラム IN TOKYO 2006」が9月1日、東京千代田区の日本教育会館で開催された。フォーラムでは、日本放送協会科学・環境番組専任ディレクターの北折一氏らによる講演やTHP体験コーナーなど産業保健の現場で役立つさまざまな話題や情報が取り上げられた。本会も、THP体験コーナーに健康運動指導士を派遣するなど協力を行った。